

年頭のぞいあいきつ

南部町長 望月 秀次郎

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の新春を寿ぎ、ごあいさつ申し上げます。町民の皆様には、思いを新たに、新しいお年をお迎えの事と存じます。昨年中、町行政に対し賜りました温かなご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界的経済不況の嵐が吹き荒れ、政府や企業の懸命の努力にも関わらず明るい展望が開けぬままに、雇用不安の波の中で年の瀬を迎えました。百年に一度と言われる不況の嵐は、新春の日本列島を覆い、政府の経済対策が動き出し、実効性が発揮出来るまでの間は続くものと思われませんが、日本人が有する世界に冠たる互助互譲の精神を発揮して、この苦境を乗り切っていくことを願っております。

地震や集中豪雨による被害も各国で起こりました。取り分け、中国四川省での大地震の発生の悪夢も覚め遣らぬ6月14日に想像をはるかに越えた岩手・宮城内陸地震が発生し、自然の力の大きさを嫌というほど認識させられました。尊い生命を失われた皆様から心からご冥福お祈り申し上げますと共に、被災地の日も早い復興を願っております。南部町もいつ起こしても不思議ではないと言われる東海地震の震源地域内に位置している事を片時も忘れない、防災対策には万全を期していく所存です。町民の皆様も行政と共に「我が命・我が家族・我が地域は、自分達で守るんだ」と言いつ思いを強く持つていただきますようお願い申し上げます。

ます。

町が取り組んでおります「地域情報化推進事業」も、町民の皆様や議会のご理解を賜る中で、国の支援を見据え、着工できる展望が開けてまいりました。地デジの対応は各テレビ共聴組合などで行っていただく事になりましたが、行政といたしましても出来る限りの情報提供とお手伝いをしてまいりますので、ご遠慮なく相談してくださいますようお願い申し上げます。

中部横断自動車道も新直轄事業区間の用地取得が順調に進み、中野地区内で昨年12月に工事が着工され、有料道路区間である静岡県境から富沢インター（仮称）間までの用地調査も終了し、今年から用地協議が開始されます。中部横断自動車道の開通を見据えた町づくりも将来の南部町にとって非常に大切な課題であると認識しております。今後とも町民の皆様の温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

合併の主要事業として取り組んでまいりました町道「楮根南部線」も、3月に完成いたしました。南部地区と富沢地区を結ぶ大きな道路の完成は、町民の皆様の心を更に深く結ぶ掛橋になるものと確信しております。また、新南部橋・県道富土川身延線の工事も皆様のご理解のもと、順調に進捗しております。さらに、昨年も実施いたしましたバス路線の充実を今年も実施すべく「南部町営バス運営協議会」に諮問しておりますので、公共交通機関の充実が更に進めらるると思っております。

また、合併以来、唯一統一されておりました水道料金の統一に向け、町民の皆様のご理解を賜りながら進めてまいります。そして、多くの皆様から要望が寄せられました「町歌」が制定される歴史的一年にもなります。制定された町歌が町民の皆様や南部町にご縁のある皆様のご心よすがになる事を願っております。

今年には国民健康保険税の改定、介護保険料の改定等、町民の皆様にご負担をお願いする案件が続きますが、ぜひともご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、昨年からの取り組みでまいりました指定管理者制度の導入について「インフォメーションセンター」道の駅とみざわ」の指定管理者を南部町商工会に決定し、本年4月1日から経営する事になりました。そのほか、行政に課せられた永遠の課題であります行財政改革に取り組みながら、少子化対策、鳥獣害対策、防災事業等の身近な問題や「南部町小中学校適正規模」問題にも取り組んでまいります。

今年も「人あつての町、人あつての地域、人が宝」の理念の下に「老いも若きも幼きも互いに信じたいわり合い、支えあつて生きて行く事の出来る住み良き日本の町」を目指してまいります。町民の皆様が温かなご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が南部町にとって、町民の皆様にとってより良い年になりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。